

「貼り雑ぜ（新）」画像ファイルの準備について（ver.11.2.0以降）

各ユーザー毎に画像ファイルを保存するためのフォルダがMacでもWindowsでも多分「ピクチャ」と言う名前で存在しているので、その中に「貼り雑ぜ用」という名前でフォルダを作り、その中に適当な名前でデータ用のフォルダを作ります。

このデータ用のフォルダ名が設定で一覧表示されて、そこでフォルダを選ぶとその中のファイルが表示されます。

データ用のフォルダ内には9階層までサブフォルダを作る事が可能です。

「貼り雑ぜ用」フォルダは、アプリケーションを起動したときに存在していない場合には自動的に空のフォルダが作られます。

「貼り雑ぜ用」フォルダを作る場所に自信が無ければ、一旦アプリケーションを起動して（表示する物が無くて「？」が表示されますが）自動作成されたフォルダを利用すれば良いでしょう。

データ用フォルダ内に置く画像ファイルは JPEG（拡張子は“jpg”か“jpeg”）又は PNG（拡張子は“png”）にします。それ以外のファイルは無視します。

画像のサイズは32×32以上にしてください。画像が大きすぎてウインドウに収まらない時は適当に縮小しますが、それ以外はリサイズやトリミングをしないので、事前に適切なサイズのファイルに加工して準備してください。

画面内に複数の絵を撒き散らす形になるので、個々の絵のサイズがあまり大きいと効果が薄れます。使用するモニタサイズなどを考えてファイルを準備してください。大体、画面サイズの3分の1程度が適当だと思います。

2023.1.7 竹内 (Macの変人) 喜代志